

# パレスチナ-中東労働者人民虐殺やめろ!

## 11.5 イスラエル大使館弾劾行動

11月5日(火) 15:30~

イスラエル大使館前集合



9.23 イスラエル軍、レバノン南部を空爆



6.3 イスラエル大使館弾劾行動



8.29  
イスラエル大使館  
にむけたデモ



5.29 アメリカ大使館弾劾行動→

### ジェノサイド阻止・パレスチナ人民連帯行動

杉並区下高井戸 1-34-9 03-3329-0165

## イスラエル政府・軍は、ジェノサイドをやめろ!

シオニストによる1948年の「イスラエル建国」以降の武装した入植活動、占領支配によって、パレスチナ人民は難民化され、命と生活を破壊されてきた。それと同時にこれへの抵抗、パレスチナ解放を目指す幾多の闘いが続けられている。そして昨年10月7日、パレスチナの少女が「小さな勝利」と言った戦闘から1年が経過する。イスラエル政府・軍によるガザへの全面攻撃、ジェノサイドが強行されている。

今なおイスラエルのシオニスト、ネタニヤフ政権は、国際的に批判が高まっても、停戦、ガザからの撤退を拒否している。ガザでは4万1千人以上のパレスチナ人民が虐殺され、ヨルダン川西岸でも700人以上が殺害されている。

イスラエル軍は8月28日からヨルダン川西岸で一斉攻撃を激化させている。9月11日にはガザ中部のヌセイラットの学校を空爆、14人が死亡した。学校には1万2000人の住民が避難していた。他にも9月だけで避難所の学校10校が攻撃され、86人が殺されている。継続する空爆・虐殺とともに、イスラエル軍は水道や電力供給施設などのインフラを破壊し続けている。

8月31日に、イスラエルの人質6人が遺体で発見されたことを機に、9月1日以降、人質の解放と、早期停戦を求める大規模な、50万人規模のデモが、イスラエル国内で続いている。

ネタニヤフは、停戦を拒否し、ガザとエジプトとの境界地帯に、軍の駐留を継続することを主張し続けている。徹底して弾劾する。パレスチナ人民へのさらなる虐殺をゆるすな。

さらに、9月17日、18日に続けて、レバノンのシーア派組織ヒズボラの戦闘員が保有する通信機器、ポケベルやトランシーバーがベイルートやレバノン各地で一斉に爆発した。17日は子供も含め12人が死亡、2800人が負傷し、うち400人以上が重傷という。18日は20人死亡、450人が負傷した。遠隔操作によるイスラエル軍の工作とみられている。

20日イスラエル軍はレバノンベイルート郊外を空爆、ヒズボラの司令官を殺害した。さらに、23日イスラエル軍はレバノン住民に、はじめて避難勧告を出

し、ヒズボラ施設など300か所以上を空爆した。100人が死亡、400人以上が負傷した。すでに、1000人以上が殺され、100万人が避難で家を追われている。そして、10月1日レバノン南部に地上部隊が侵攻した。

さらにイスラエル軍は、9月29日、イエメンのフーシ派を標的として、港や発電所などを空爆した。

イスラエル軍による、中東全域での全面戦争、パレスチナ・レバノン・イエメン-中東労働者人民虐殺をゆるすな。

イスラエル大使館への弾劾行動を闘おう。連続して闘おう。パレスチナ人民の解放闘争に連帯しよう。

## 石破自公連合政府を打倒しよう!

10月1日、自民党・石破が首相に就任した。そしてすぐに国会を解散し、10月27日に衆院総選挙をおこなうとした。自民党の金権腐敗、裏金問題、統一教会との蜜月関係を居直り、強権的にさらなる軍事的突出、戦争突撃をしようとしているのだ。

石破は、改憲・国防軍の明記や、アジア版NATOの創設を主張し、集団的自衛権の行使・アジア各地での戦争への軍事介入を行おうとしている。さらに、アメリカの核兵器の共有や持ち込みの検討や日米安保の改定、自衛隊のグアム駐留を主張している。

石破は、2013年の秘密保護法強行採決の過程で、多くの反対の声に対して、「絶叫戦術はテロ行為とその本質においてあまり変わらない」とブログに書き、これは撤回したものの、すぐに再び「(テロと)相通ずるものがある」と言い放ち、闘う者への憎悪をあらわにした。

改憲・核武装、戦争に突撃する石破自公連合政府を打倒しよう。米帝と歩調を合わせた、イスラエルの「自衛権」主張容認、パレスチナ-中東労働者人民虐殺への加担をゆるすな。自国政府打倒の実力闘争・武装闘争で、国際連帯を貫き闘おう。

【2024. 10. 2】